



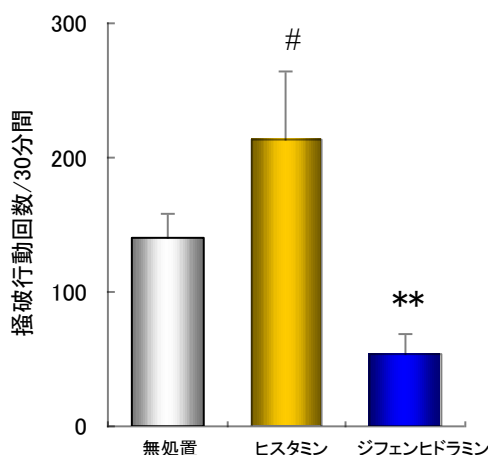
当社は、JAPICの動物実験実施施設認証を取得しています

かゆみを伴う皮膚疾患モデル

今月のかゆみを伴う皮膚疾患モデルとして、「末梢性搔破モデル」と「アトピー性皮膚炎モデル」をご紹介します。

末梢性搔破モデル

マウスの頸背部皮内に、ヒスタミン（又はサブスタンスP）を投与することで誘導される搔破行動誘導モデルに対して、抗ヒスタミン剤であるジフェンヒドラミンを腹腔内投与しておくことで、搔破行動回数の上昇が抑制されます。



ヒスタミン誘発搔破行動モデルに対するジフェンヒドラミンの作用

[#] $p < 0.05$: 無処置と比較して有意差あり

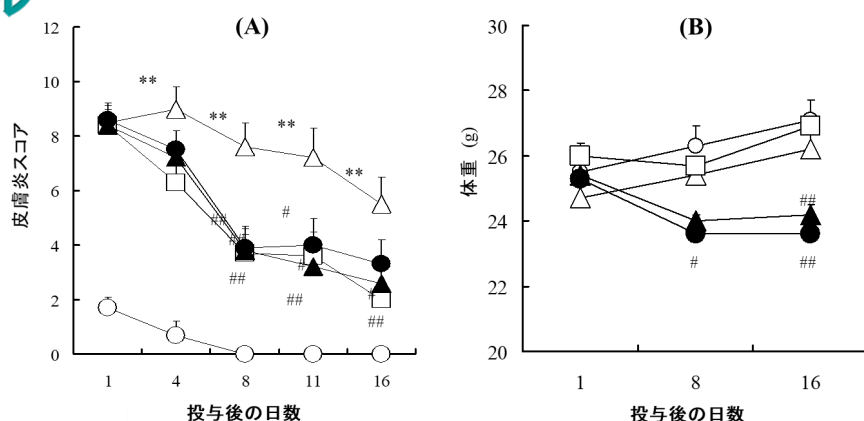
^{**} $p < 0.01$: ヒスタミンと比較して有意差あり



透明なアクリル製ケージ内の動物の搔破行動を上部よりビデオカメラで記録

アトピー性皮膚炎モデル

NCマウスの頸背部皮内に、sodium dodecyl sulfate で背部皮膚のバリアを破壊後、背部および耳介部にダニ抗原（又はPiCl）を頻回塗布することにより皮膚炎を誘発しました。皮膚炎誘発後、各種薬剤を連続投与して皮膚炎スコアの観察を行いました。その結果、皮膚炎スコアの改善が確認されました。



NCマウスを用いたダニ抗原連続投与によるアトピー性皮膚炎モデルの皮膚炎スコア(A) 体重(B)

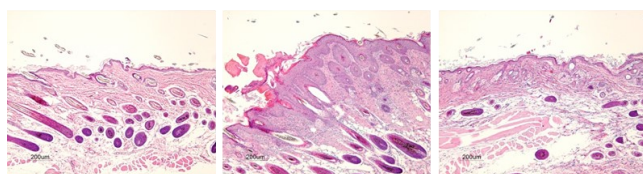
^{**} $p < 0.01$: 正常対照群と有意差あり。[#] $p < 0.05$, ^{##} $p < 0.01$: 誘導対照群と有意差あり。

○正常、△:媒体、□:タクロリムス軟膏、●:ベタメタゾン、▲:デキサメタゾン。

正常

媒体

タクロリムス軟膏



NCマウスを用いたダニ抗原連続投与によるアトピー性皮膚炎モデルの背部皮膚の病理写真(HE染色)



「第97回 日本薬理学会年会」

期間/2023年12月14日(木)～16日(土) 会場/神戸国際会議場

日本薬理学会年会にて「ポスター発表(英文)」「ブース展示」を予定しています。



■発表予定演題

演題番号：1-B-P-034 講演日：12月14日(木)

Accumulation and propagation of tau impair cognitive function and decrease acetylcholine levels in the hippocampus in wild-type mice.

タウの蓄積・伝播は野生型マウスの認知機能を障害し、海馬アセチルコリン含量を減少させる

演題番号：2-B-P-040 講演日：12月15日(金)

Establishment of a Thioacetamide and Liver X Receptor Agonist-Induced Nonalcoholic Steatohepatitis Model

チオアセトアミド及びLiver X receptor agonist誘導非アルコール性脂肪性肝炎モデルの確立

演題番号：2-B-P-068 講演日：12月15日(金)

Comparison of fibrosis levels and drug effects on fibrosis among various mouse models of ischemic acute kidney injury

各種マウス虚血性急性腎障害モデルにおける線維化レベルおよび薬剤による線維化に対する作用の比較

演題番号：3-B-P-029 講演日：12月16日(土)

Age-dependent alterations in social behavior and brain neurotransmitter levels in mice trimmed bilateral whiskers during the neonatal period

新生仔期の両側頬ひげ切除がマウスの発達に伴う社会性行動および脳内神経伝達物質含量の変化に及ぼす影響

「OYCバイオシンポジウム2023」(Web配信[Webex]とのハイブリッド開催)

日時/2023年12月19日(火)10:00～17:30 会場/日本工業倶楽部会館2F 大会堂

OYCバイオシンポジウムにて「日本バイオリサーチセンターの講演」「ポスター展示」を予定しています。

■講演予定演題

タウオパチーマウスモデルの認知症機能評価



■ポスター展示予定演題

S284L変異トランスジェニックラットの常染色体優性夜間前頭葉てんかん症状の評価

チオアセトアミド及びLiver X receptor agonist誘導非アルコール性脂肪性肝炎モデルの確立